取扱説明書

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みになり、
取扱方法を良くご理解の上でお使いください。

電動刈払機
ET363B シリーズ

MODEL

ET363B-W	ET363B-W2
ET363B-L	ET363B-L2
ET363B-S	ET363B-S2

〒601-8307　京都市南区吉祥院向田西町１１
業務課　TEL 075(313)5890

このセツメイショのコード番号は８００２０５３０９です。１００７

エレテカシリーズ　電動刈払機　取扱説明書

MODEL　ET363B-W　ET363B-L　ET363B-S
ET363B-W2　ET363B-L2　ET363B-S2

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品を安全に、また、正しくお使いいただくために、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、取扱方法をよくご理解の上でお使いください。

■はじめに

● ▲印付きの下記警告マークは、安全上重要な項目を示していますので、必ずお守りください。誤った方法で使用されますと、重大な事故となる場合がありますので、ご注意ください。

> ▲ 危険　その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う原因になるもの。
> ▲ 警告　その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるもの。
> ▲ 注意　その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるもの、
> 　　　　または製品の重大な破損をまねくおそれのあるもの。

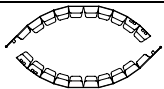
● この取扱説明書は、本製品の全般的な取扱方法と、使用上の注意事項について記載してあります。ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しい取り扱いをしていただき、最良の状態で安全に作業をしてください。

● この取扱説明書をお読みになったあとは、いつでも読める状態で必ず保管してください。

● この取扱説明書を紛失、損傷した場合は、直ちにお買い上げの販売店またはもよりの当社営業所までお申し出ください。

● この製品を他の人に貸す、あるいは譲渡するときは、この取扱説明書を同時に渡し、必ず使用前によく読むように指導してください。

● 品質上、性能上、あるいは安全上、製品の仕様を予告なしに変更することがあります。本書の内容、イラストの一部が、お買い上げの製品と一致しない場合がありますのでご了承ください。

● ご不明な点やお気付の点がございましたら、お買い上げの販売店またはもよりの当社営業所にご相談ください。

■もくじ

1，安全に作業をするために

ここには安全に作業をするための注意事項が記載されています。これらの事項を守り、安全な作業を行ってください。守らないと死亡を含む障害や事故、製品の破損が生じるおそれがあります。

●刈払機の取扱いに関する注意事項

区分	注意事項
⚠危険	◆ 回転中の刈刃には、手や足などを近づけないでください。 ・草などが巻き付き、刈刃が停止しても、手や足などを近づけないでください。 → 刈刃は非常に危険ですので、死亡または重傷を負う原因になります。
⚠警告	◆ 次のような人は、刈払い作業をしないでください。（作業の補助もやめてください。） ・過労、病気、ケガ、体調が悪いなどの影響で作業に集中できない人 ・作業前に酒類を飲んだ人　　・１５才未満のこども　　・妊娠している婦人 → 正しい判断、作業操作ができずに事故を起こす可能性があります。
	◆ 刈払い作業、作業準備をする人は、服装をきちんとしてください。 ・体にあった安全かつ動きやすいものを着用する。 ・手袋、長靴を着用する。　・防護用アイプロテクタを着用する。 → 乱れた衣服の端を枝などにひっかけ、転んでケガを負う可能性があります。
	◆ 雨中での刈払い作業は行わないでください。 → 感電や充電式電池の発熱、破裂、発火の可能性があります。
	◆ 周囲に人がいない事を確認して作業してください。 ・飛散物が当たるなど、思わぬ事故の原因となる可能性があります。
	◆ 清掃・点検・整備をするときは、充電式電池を取り外してください。 → 誤って刈払機を作動させて、死亡または重傷を負う可能性があります。 → 刈刃の周りを点検するときは、特に注意してください。
⚠注意	◆ 移動や保管の時は、刈刃プロテクタを取り付けてください。 → 誤って刈刃に触れて、ケガを負うおそれがあります。
	◆ 無理な姿勢で作業しないでください。 → バランスを失い転倒して、ケガを負うおそれがあります。
	◆ 長時間作業するときは、時々作業を中断し休憩してから作業を継続してください。 → 疲労は事故の最大の原因です。３０～４０分間作業すれば、１０～２０分間の休憩が必要です。

●一般的な注意事項

区分	注意事項
警告	◆ 使用する機具が、作業中に故障しないように、作業前に十分に点検・整備をしてください。 ネジ類のゆるみ、外れはないかなど、十分に点検・整備をしてください。 → 重大な傷害事故の原因となったり、製品の破損を生じる可能性があります。
⚠注意	◆ この取扱説明書で示す重要な項目は、起こりうる全ての状況や状態を表しているものではありません。刈払機の安全性には十分気を配っておりますが、取り扱う方や保守する方も十分な注意をお願い致します。

充電式電池（電池パック）についての注意事項

⚠危険	◆ 水・海水・ジュースなど液体で濡らさないでください。 → 異常な電流、電圧で充電式電池が充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
	◆ 火やストーブなど熱源のそばに放置しないでください。 → 発熱、破裂、発火の原因になります。
	◆ 充電は、この説明書に記載されている充電器を使用し正しく行ってください。 → 誤った充電条件で充電すると、発熱、破裂、発火の原因になります。
	◆ 正しくお取扱いください。 ・火中に投入したり、加熱したりしないでください。 ・強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。 ・釘を刺したりハンマーでたたいたり踏みつけたりしないでください。 ・充電式電池に直接はんだ付けをしないでください。 ・充電式電池の（+）極と（-）極を金属で接続しないでください。 ・保管や移動の際にネックレスやヘアピンなどと一緒にしないでください。 ・充電器や製品への接続は、充電式電池の（+）極と（-）極をよく確認し正しく接続してください。 → 充電式電池のショート、漏液、発熱、破裂、発火の原因になります。
	◆ 外傷、変形の著しい充電式電池は使用しないでください。 → 発熱、破裂、発火の原因になります。
	◆ 解体・改造をしないでください。 → 充電式電池の発熱、破裂、発火の原因になります。 → 解体・改造した製品では製品の安全や性能、その他製品に関する保証はできません。
	◆ 充電式電池を直接電源コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。 → 感電、発熱、破裂、発火の原因になります。
	◆ 火のそばや熱源の近くで充電を行わないでください。 → 充電ができなかったり異常な充電が行われたりし、充電式電池の発熱、破裂、発火の原因になります。
⚠警告	◆ 電子レンジや高圧容器にいれないでください。 → 発熱、破裂、発火の原因となる可能性があります。
	◆ こどもの手に触れることのないようにしてください。 → 不用意な取扱は危険を伴います。
	◆ 規定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。 → 感電、発熱、破裂、発火の原因となる可能性があります。
	◆ 充電式電池の空気口を塞がないでください。 → 空気の風通し妨げることにより、発熱、破裂、発火の原因となる可能性があります。
	◆ 本製品を使用しない場合は、充電式電池を本体から取り外してください。 → 不意の始動でケガを負う可能性があります。
	◆ 漏液や異臭がする際は、ただちに火気より遠ざけてください。 → 漏液した電解液に引火し、破裂、発火する可能性があります。
	◆ 漏液した電解液が目に入った場合は流水で洗浄し、その後ただちに医師の治療を受けてください。 → 放置すると液により目に傷害を与える可能性があります。
	◆ 運送時は収納しているケース内で電池が動かないように梱包してください。 → 破損やショートの原因になる可能性があります。

⚠注意	◆ 直射日光が当たる場所など高温になる場所に放置しないでください。 → 充電式電池を漏液させる原因になるおそれがあります。
	◆ 充電温度範囲（0～40℃）以外での充電は行わないでください。 → 充電式電池を発熱、破損させる原因になるおそれがあります。
	◆ 初めてご使用になる際に、かびや異臭、発熱などの異常がみられた場合は、ご使用にならないでください。 ・お買い求めの販売店またはもよりの当社営業所までお申し出ください。
	◆ 充電式電池は出荷前に若干量の充電を行っています。 ・製品の動作確認にお使いください。動かない場合は、充電してからご使用ください。
	◆ 充電式電池を長持ちさせるために以下のことを行ってください。 ・長時間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合は、説明書に記載している規定充電時間の約半分の時間を充電し、乾燥した場所で保管してください。 ・6ヶ月に1度は充電を行ってください。
	◆ 充電式電池には寿命があります ・製品の使用時間が短くなった場合は新しい充電式電池に買い換えてください。
	◆ 漏液した電解液が肌や衣服に付いた場合は、ただちに多量の水で洗い流してください。 → 放置しておくと皮膚がかぶれたりする原因になるおそれがあります。
	◆ 本製品で使用している充電式電池はリサイクルできます。※1) ・使用できなくなった充電式電池は最寄りの「リサイクル協力店」にご持参ください。または、設置してある「充電式電池リサイクルＢＯＸ」に入れてください。

※1) 充電式電池のリサイクルついては、「12，電池のリサイクル」をご参照ください。

● 充電についての注意事項

⚠危険	◆ 充電式電池は専用の充電器で充電してください。 ・この説明書に記載されている充電器以外は使用しないでください。 → 誤った充電条件で充電すると、充電式電池の発熱、破裂、発火の原因になります。
⚠警告	◆ 正しく充電してください。 ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。 → 異常な発熱により火災をひきおこす可能性があります。
	◆ 濡れた手で電源プラグに触れないでください。 → 感電する可能性があります。
	◆ 雨中や湿気の多い場所では充電を行わないでください。 → 感電や充電式電池の発熱、破裂、発火の原因となる可能性があります。
	◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。 → 感電やショートして発火する可能性があります。
⚠注意	◆ 充電は風通しのよい場所で行い、可燃物を上に乗せたり、まわりを覆ったりしないでください。 → 誤った充電条件で充電すると、充電式電池の発熱、破裂、発火の原因となるおそれがあります。
	◆ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。 ・コードを持って充電器を運ばないでください。 ・コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。 ・踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないようにしてください。 → 無理な力を受けてコードが損傷し、感電やショートして発火するおそれがあります。
	◆ 損傷した充電器は使用しないでください。 ・電源プラグやコードが破損しているなど、損傷がある充電器は使用しないでください。 → 感電やショートして発火するおそれがあります。

2，仕　様

● 本体仕様

型　　式		ET363B-W ET363B-W2	ET363B-L ET363B-L2	ET363B-S ET363B-S2
寸　　法	長さ	1760mm	1760mm	1830mm
	幅	575mm	230mm	230mm
	高さ	450mm	245mm	245mm
重　量 ※2)		4.5ｋｇ	4.4ｋｇ	4.6ｋｇ
ハンドル仕様		両手ハンドル	ループハンドル	ループハンドル
パ イ プ 径		２４mm		２４mm分割式
電　動　機		３６Vブラシモーター、電子ブレーキ付き		
刈　　刃		チップソー　２３０mm×３６P		
刈刃回転方向		上から見て反時計回り		
刈 刃 回 転 数		低速：４０００min^{-1}　／　高速：６０００min^{-1}		
作　業　時　間　※3)		４０分：４０００min^{-1}　／　３０分：６０００min^{-1}		
付　　属　　品		「３，製品の確認」をご覧ください		

※2) 重量には刈刃、刈刃プロテクタ、プロテクタ（飛散防止用）、ベルトクミを含んでいません。
充電式電池を含んでいます。
※3) 作業時間は作業条件により変わります。

● 充電器仕様

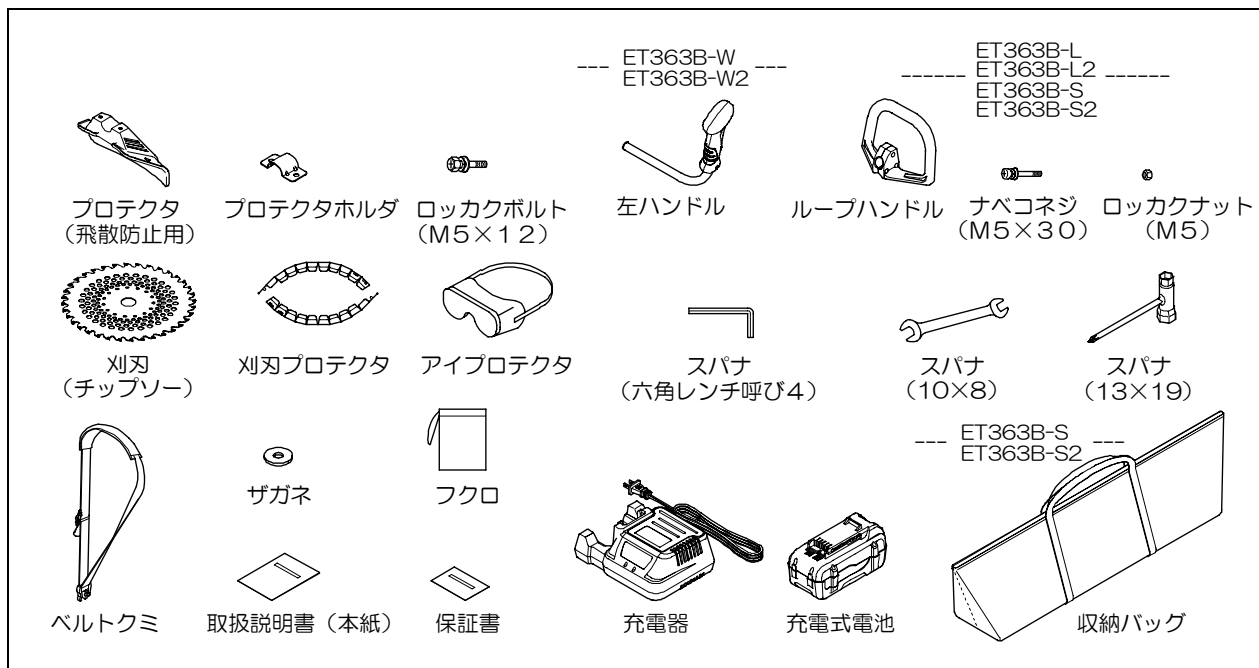
型　　式	５３０８
入力電源	AC１００V　５０/６０Hz　３００VA
出力電圧　電流	DC４１.５V　５.１A
充電時間	約５０分※4)
重　　量	８８０g
充電温度範囲	０℃～４０℃
冷却方式	強制空冷（ファン付き）

※4) 周囲の温度や充電式電池の状態により、充電時間はかわります。

● 充電式電池仕様

型　　式	５１４１
充電式電池	リチウムイオン電池
電　　圧	DC３６V
容　　量	３.０Ah
重　　量	１.３ｋｇ
使用および充電温度範囲	０℃～４０℃

３，製品の確認

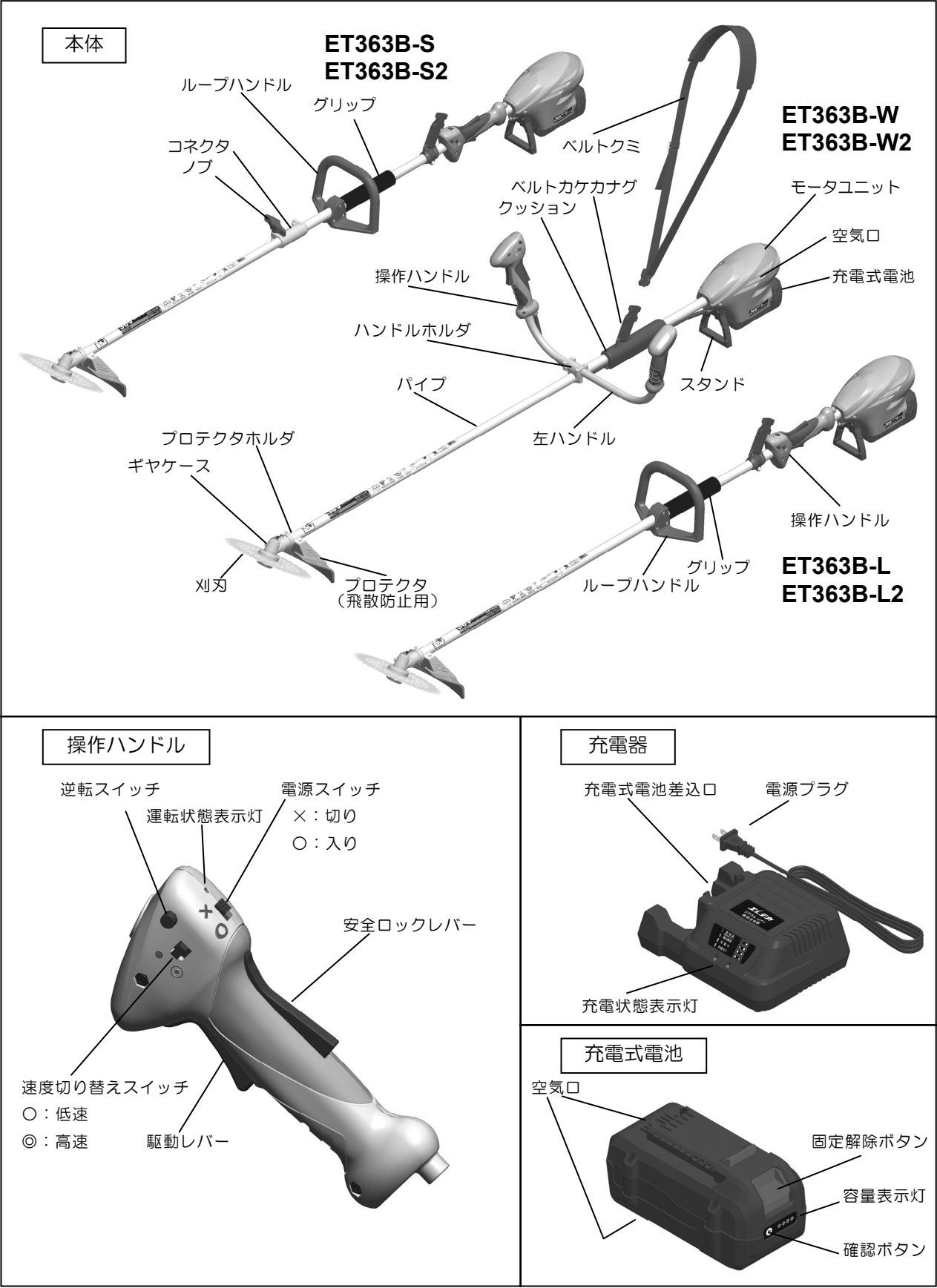
箱を開封した時に付属品がそろっているかご確認ください。
万一、付属品が足りない場合や、破損していた場合にはお買求めの販売店またはもよりの当社営業所までお申し出ください。

<table>
<tr><td colspan="2">プロテクタ（飛散防止用）</td><td>1</td><td colspan="2">スパナ（13×19）</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2">プロテクタホルダ</td><td>1</td><td colspan="2">ベルトクミ</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2">ロッカクボルト（M5×12）</td><td>2</td><td colspan="2">ザガネ（別売ナイロンカッター取付用）</td><td>1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">左ハンドル</td><td rowspan="2">型式：ET363B-W
ET363B-W2</td><td rowspan="2">1</td><td colspan="2">フクロ（工具袋）</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2">取扱説明書（本紙）</td><td>1</td></tr>
<tr><td>ループハンドル</td><td rowspan="3">型式：ET363B-L
ET363B-L2
ET363B-S
ET363B-S2</td><td>1</td><td colspan="2">保証書</td><td>1</td></tr>
<tr><td>ナベコネジ（M5×30）</td><td>3</td><td colspan="2">充電器</td><td>1</td></tr>
<tr><td>ロッカクナット（M5）</td><td>3</td><td rowspan="4">充電式電池</td><td rowspan="2">型式：ET363B-W
ET363B-L
ET363B-S</td><td rowspan="2">1</td></tr>
<tr><td colspan="2">刈刃（チップソー）φ230×36P</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2">刈刃プロテクタ（2個で1セット）</td><td>1</td><td rowspan="2">型式：ET363B-W2
ET363B-L2
ET363B-S2</td><td rowspan="2">2</td></tr>
<tr><td colspan="2">アイプロテクタ</td><td>1</td></tr>
<tr><td colspan="2">スパナ（六角レンチ呼び４）</td><td>1</td><td rowspan="2">収納バッグ</td><td rowspan="2">型式：ET363B-S
ET363B-S2</td><td rowspan="2">1</td></tr>
<tr><td colspan="2">スパナ（10×8）</td><td>1</td></tr>
</table>

４，本製品の使用目的

本製品は草刈りにお使いください。

⚠ 危険	◆ 本製品を改造したり、定められた使用目的以外に使ってはいけません。 またメーカーが指定した以外の作業アタッチメントは使用できません。 →　重大な事故を発生したり、製品に破損が生じる原因になります。 ・　刈刃はマルナカ純正品 NSTK230×36 を使用してください。 ・　ナイロンカッターを使用する時は、コード飛び出し長さを直径３００mm程度までに調整してください。

5，各部のなまえ

本体
ET363B-S
ET363B-S2
ループハンドル
グリップ
コネクタ
ノブ
ベルトクミ
ET363B-W
ET363B-W2
ベルトカケカナグ
クッション
モータユニット
空気口
充電式電池
操作ハンドル
ハンドルホルダ
スタンド
パイプ
左ハンドル
プロテクタホルダ
ギヤケース
刈刃
プロテクタ
（飛散防止用）
操作ハンドル
グリップ
ループハンドル
ET363B-L
ET363B-L2
操作ハンドル
逆転スイッチ
運転状態表示灯
電源スイッチ
×：切り
○：入り
安全ロックレバー
速度切り替えスイッチ
○：低速
◎：高速
駆動レバー
充電器
充電式電池差込口
電源プラグ
充電状態表示灯
充電式電池
空気口
固定解除ボタン
容量表示灯
確認ボタン

6，警告ラベルの貼り付け位置および警告マークの説明

本製品を安全にお使いいただくために、警告ラベルの貼り付け位置を示した図です。
ラベルは、常に読めるように保ち、破損や紛失した場合は、新しいラベルを貼ってください。
また、ラベルを貼ってある部分を交換した時にも、必ず取り外した部品と同じ場所に貼ってください。
ラベルのご購入は、本製品をお買い求めの販売店またはもよりの当社営業所までお申しつけください。

マーク	区分	説明
	警告	◆ プロテクタ（飛散防止用）を取り付けてください。 → 取り付けずに作業すると、飛散物などで死亡または重傷を負う可能性があります。必ず、取り付けて作業してください。
	警告	◆ 作業前に、必ず、取扱説明書を読んでください。 → 取扱説明書を読まずに作業すると、死亡または重傷を負う可能性があります。
	危険	◆ 目、耳、頭、手、足に防護具を着用してください。 → 着用せずに作業すると、死亡または重傷を負う原因になります。必ず、着用して作業してください
	警告	◆ 雨天では使用しないでください。 → 感電、発熱、破裂、発火の原因となる可能性があります。
	警告	◆ 飛散物に注意してください。 → 飛散物などで死亡または重傷を負う可能性があります。
360° 15m 50ft	警告	◆ 作業中、人や動物を、刈刃から１５m以内に近づけないでください。 → 刈刃によって死亡または重傷を負う可能性があります。

7，作業準備

● 充電式電池の補充電

初めてご使用になられる前は、必ず補充電を行ってください。

本製品はリチウムイオン電池を使用しています。補充電を行う際は、「1，安全に作業するために ● 充電式電池（電池パック）についての注意事項 ● 充電についての注意事項」をあわせてお読みください。

以下の手順で充電を行ってください。

1、 充電器の電源プラグを家庭用コンセント（AC100V）に差し込んでください。
2、 充電式電池を充電器の差込口に図１のように確実に差し込んでください。
3、 充電器の充電状態表示灯 図 2-A が緑色に点滅し、充電を開始します。充電中、充電式電池の容量表示灯は流れ点滅します。緑の点滅が点灯に変われば、充電の完了です。
   充電時間の目安は、約 50 分です。
4、 充電中、もしくは充電式電池を充電器に差し込んだ時点で、充電状態表示灯　図 2-B　が赤く点滅している場合は、充電式電池または充電器の異常です。直ちに充電式電池を充電器からはずし、充電器の電源プラグをコンセントからはずして充電をやめてください。対処方法については、下記「充電器の充電状態表示灯について」をお読みください。
5、 充電が終われば充電式電池を充電器から外し、充電器の電源プラグをコンセントからはずしてください。

図１

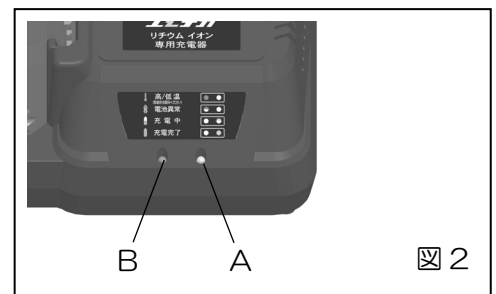



図２

● 充電器の充電状態表示灯について

充電器には充電状態を表示する「充電状態表示灯」が前面についています。充電式電池を充電器に差し込んだ際に点灯または点滅します。充電状態表示灯の点滅または点灯に関する詳細は、「表 1、充電器の充電状態表示」をご参照ください。

表 1、充電器の充電状態表示

充電状態表示灯の表示		状態	内容及び対処方法
○ ◒	緑点滅	充電中	充電中です。
○ ●	緑点灯	充電完了	充電が完了しました。充電器より充電式電池をはずしてください。
◒ ○	赤点滅	充電不可	充電ができない状態です。 ・充電式電池の取付け部分または充電式電池の端子部が汚れていないかを確認し、汚れていれば綿棒などで汚れを拭取ってください。 ・充電式電池の取付け部分または充電式電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていれば取り除いてください。 → 上記 2 点をご確認いただいた上で状態が改善されない場合は、充電器または充電式電池の異常と考えられます。販売店またはもよりの当社営業所へご連絡ください。
● ○	赤点灯	温度待機	充電式電池の温度が充電可能温度範囲外です。 → 充電式電池が充電可能温度になれば自動的に充電を開始します。

● 充電式電池の容量表示について

充電式電池の確認ボタンを押すと、容量表示灯が点灯または点滅して残容量を表示します。表示内容の詳細は「表 2、充電式電池の容量表示」をご参照ください。

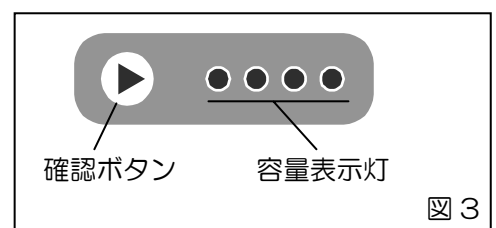



図３

表２、充電式電池の容量表示

容量表示灯の表示	残容量
● ● ● ● ４灯全て点灯	80-100%
○ ● ● ● ３灯が点灯	60-79%
○ ○ ● ● ２灯が点灯	40-59%
○ ○ ○ ● １灯のみ点灯	10-39%
○ ○ ○ ◓ １灯のみ点滅	10%未満
◓ ◓ ◓ ◓ ４灯全て点滅	残量無し

説明書に記載している規定時間の充電を行っても極端に作業時間が短くなってきたときは、充電式電池の寿命です。指定の新しい充電式電池と交換してください。

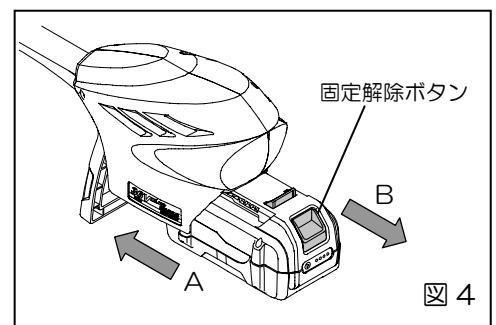
● 充電式電池の取り付け、取り外し

⚠警告　作業を行う際、電源スイッチを「×：切り」にしてください。
　→　不意の始動でケガを負う可能性があります。

⚠警告　必ず専用の刈刃プロテクタを取り付けてください。
　→　ケガを負う可能性があります。

以下の手順で充電式電池の製品へ取り付け、取り外しを行ってください。

1、製品本体後方の充電式電池取付け位置の溝に充電式電池を合わせ、差し込んでください（図４-A)。
2、充電式電池を製品本体へしっかりと差し込み、充電式電池がカチッと音がして固定されれば取り付け完了です。
3、取り外す際は、充電式電池の固定解除ボタンを押しながら製品本体より引き抜いてください（図４-B)。

図４

● 組立

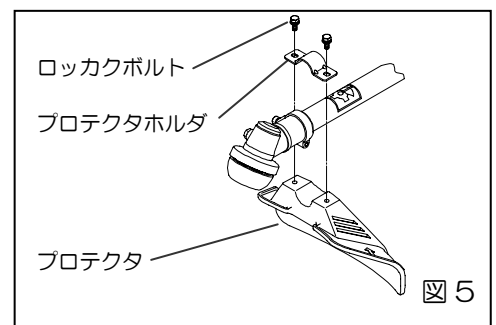
次の順序で組立ててください。

⚠注意　組立は充電式電池を取り外して行ってください。

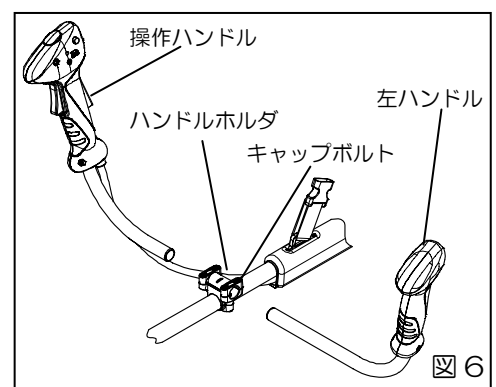
○　プロテクタ（飛散防止用）の取付

・刈刃に近い位置に、パイプをはさむようにして、プロテクタとプロテクタホルダを取り付け、ロッカクボルト（M５×１２）２本で均等に締め付けてください。

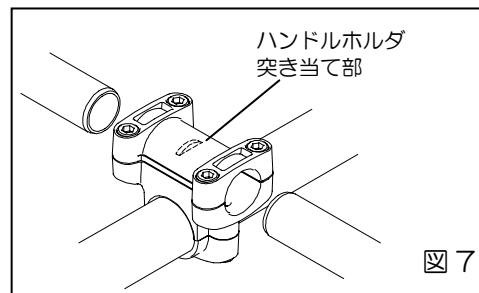
⚠警告　プロテクタを外したまま使用することは危険ですので、必ず取り付けて使用してください。
　→　飛散物などで死亡または重傷を負う危険性があります。

図５

○　操作・左ハンドルの取り付け（ET363B-W、W2）

1、ハンドルホルダのキャップボルト（４本）を付属のスパナ（六角レンチ）で緩めてください。
2、左右のハンドル端部をハンドルホルダの突き当たりまで差込み、ハンドル角度などを調整した後にキャップボルト（４本）を付属のスパナ（六角レンチ）で均等に締め付けてください。

図６

⚠注意　ハンドルホルダ突き当て部がハンドルに乗り上げた状態でキャップボルトを締め付けるとハンドルホルダを破損させるおそれがあります。

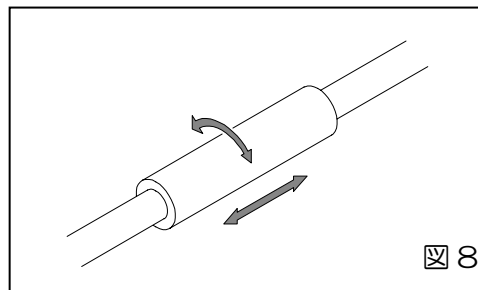
⚠注意　ハンドルが確実に取り付けられているか手でハンドルのグリップに力を加えて、回らないことを確認してください。

図７

○　グリップの位置（ET363B-L、L2、S、S2）

・グリップの位置は変更することができます。必要に応じて安全に作業しやすい位置に動かしてください。

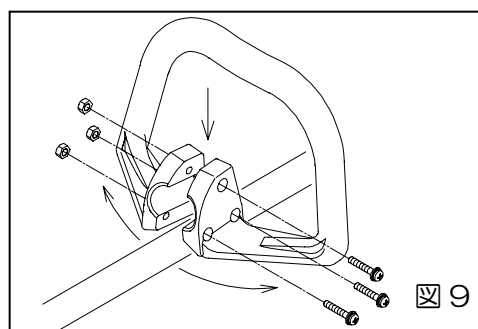
・グリップを回しながら押し引きし、動かしてください。

⚠注意　グリップは強く差し込まれているだけです。潤滑油などを使用して動かすと、固定することができなくなります。

図８

○　ループハンドルの取り付け（ET363B-L、L2、S、S2）

・パイプをはさむようにしてハンドルを取り付け、ナベコネジ（M５×３０、ロッカクナットM５）３組で平均に締め付けてください。

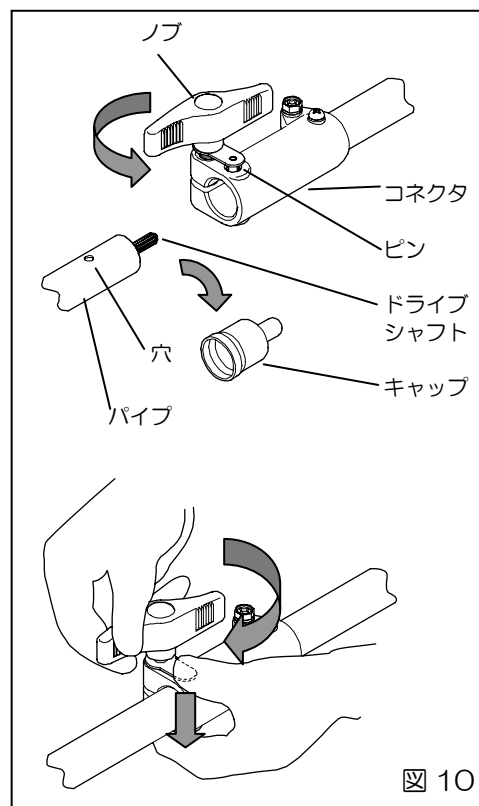
⚠注意　ハンドルが確実に取り付けられているか、手でハンドルのグリップに力を加えて、回らないことを確認してください。

図９

○　パイプの組立（ET363B-S、S2）

1、ノブを反時計方向にいっぱいに回します。ピンが上がります。

2、パイプからキャップをはずし、コネクタに差し込みます。ドライブシャフトの噛み合わせを確認しながら奥まで差し込みます。

3、ピン部分を押し込み、ピンが穴に刺さっていることを確認し、ノブを確実に締めてください。

⚠注意　パイプが確実に取り付けられているか、手でパイプに力を加えて、回らないことを確認してください。

○　パイプの分解（ET363B-S、S2）

・ノブを反時計方向にいっぱいに回して、パイプを引き抜きます。ごみなどが付着しないようキャップを取り付けてください。

⚠注意　分解時は本体を水平、もしくはギヤケースを上に向けてノブを緩めてください。パイプが落下しケガを負うおそれがあります。

図 10

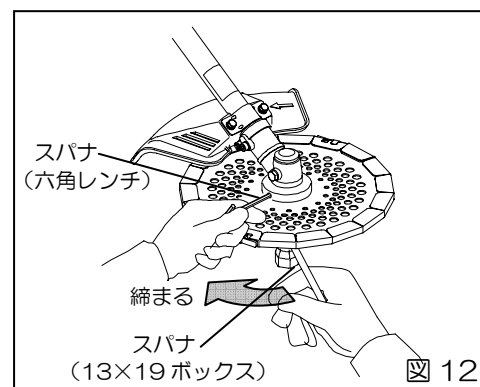
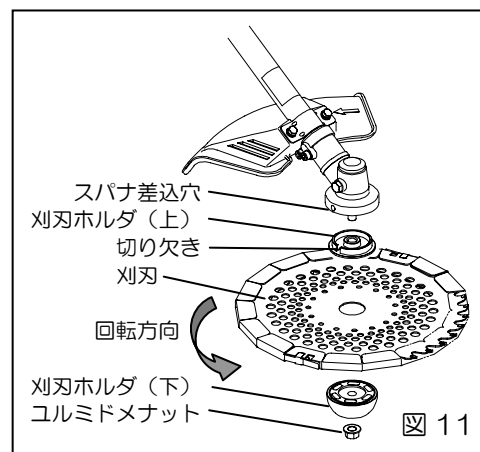
○　刈刃の取付

1、スパナ（六角レンチ）をギヤケースの差込穴に入れ、刈刃ホルダ（上）をまわして、刈刃ホルダ（上）の切り欠きに合わせて固定してください。
2、ユルミドメナットをスパナ（13×19ボックス）で右に回して取り外してください。ユルミドメナットは左ネジです。右に回せば取り外せます。
3、刈刃ホルダ（上）、刈刃、刈刃ホルダ（下）の順にギヤケースにはめ、ユルミドメナットを左に回して確実に締め付けてください。

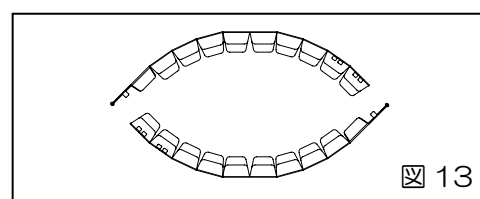
⚠注意　手袋等を着用し、刈刃で手を傷つけないように十分注意してください。

⚠注意　刈刃は必ずギヤケース側から見て左回りに取り付けてください。

図 11

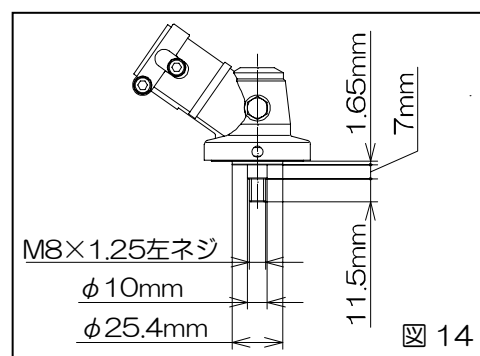
図 12

○　刈刃プロテクタの取付

・組立時、メンテナンス時、移動時等には、刈刃に刈刃プロテクタを必ず取り付けてください。
・作業時には、取り外してください。

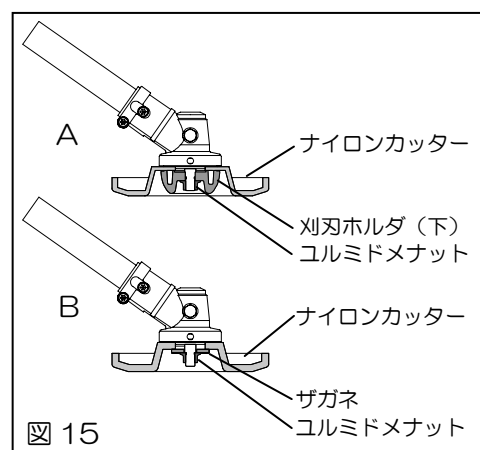
図 13

○　ナイロンカッター（別売）の取付

・市販のナイロンカッター（20ｃｃエンジン向け）をお使いください。
・コード飛び出し長さを直径300mm程度までに調整してください。

⚠注意　市販されているナイロンカッターの中には取り付けられないものもあります。図14の寸法を参考にナイロンカッターを選定してください。

図 14

・挟み込みタイプを取り付けるときは、刈刃と同様に刈刃ホルダ（下）、ユルミ止めナットを使用して取り付けます。（図15-A）
・刈刃ホルダ（下）を取り付ける空間がないときは刈刃ホルダ(下)の代わりに付属のザガネを使用して取り付けます。（図15-B）

⚠注意　ナイロンカッターに厚みがあり、ユルミドメナットが完全に取り付かないものは使用しないでください。

図 15

・ネジ込みタイプを取り付けるときは、刈刃ホルダ（下）、ユルミ止めナットを取り外します。
M8左ネジに直接取り付けてください。（図16-A）
・刈刃ホルダ（上）とナイロンカッターに隙間（3mm以内）が出来るときは、間に付属のザガネを挟んで取り付けてください。（図16-B）
・スパナ（六角レンチ）をギヤケースの差込穴に入れ、ナイロンカッターをまわして、刈刃ホルダ（上）の切り欠きに合わせて固定してください。そのままナイロンカッターを左に回して締め付けてください。

⚠注意　ナイロンカッターの取扱説明書もお読みください。

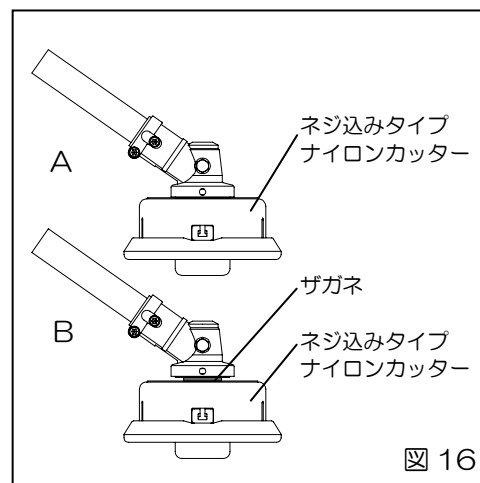



図 16

○　ベルトクミの取付
・ベルトクミをベルトカケカナグに取り付けてください。
・ベルトクミのベルトは使いやすい長さに調整してください。
⚠注意　確実に取り付けられていることを確認してください。
⚠注意　ベルトクミを必ず着用し、本体を正しく保持してください。

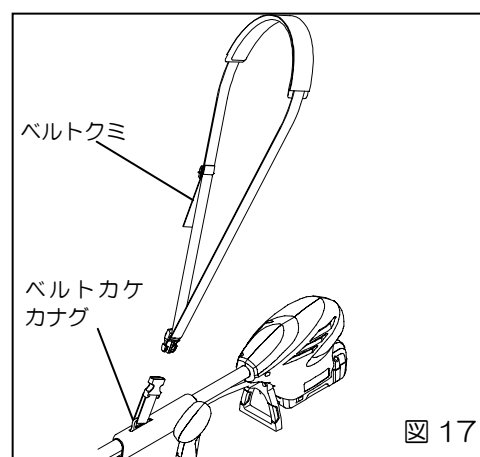
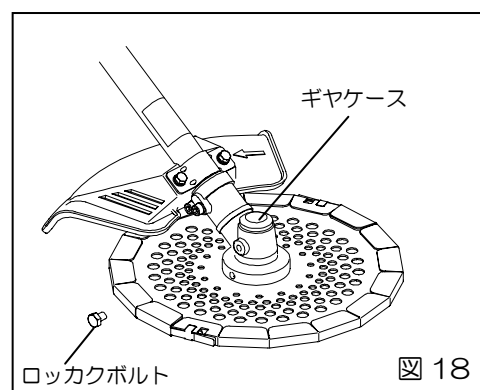
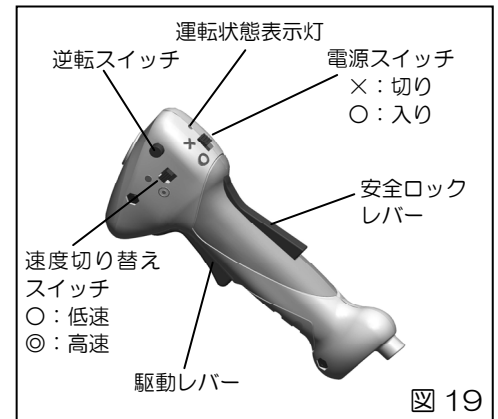
図 17

● 作業前の点検
・各部の緩みが無いか、特に刈刃の締め付けの緩みが無いか点検し、異常が無いことを確認してから作業を始めてください。
・ギヤケース付近の草などの巻き付きは、ギヤケースの磨耗の原因となります。電源スイッチを「×：切り」にし、刈刃の回転停止を確認してから草などを取り除いてください。
・磨耗の激しいギヤケースは交換してください。
・刈刃に欠け、ひび割れ、変形などが無いか、よく調べてください。異常がある場合は、メーカー指定の純正品に交換してください。
・ギヤケース内のグリスの量を点検してください。グリスの量が少ない時は、ギヤケースのロッカクボルトを外し、グリスチューブ等で注油してください。
⚠注意　ギヤケースのグリスが少なすぎると、ベアリングやギヤ等の摩耗を早めます。定期的（５０時間ごと）に補充してください。

図 18

8，始動・停止

図 19

1、 充電式電池を取り付けてください。
2、 電源スイッチを「○：入り」にします。電源が入ると運転状態表示灯が点灯します。
3、 回転速度を選びます。「○：低速。◎高速」
※ 速度選択は電源スイッチが「○：入り」「×：切り」どちらの状態でも行えます。
※ 刈刃の回転中はスイッチを切り替えても回転速度は変わりません。操作は刈刃の停止中に行ってください。
4、 安全ロックレバーを手のひらで押します。
5、 安全ロックレバーを押したまま駆動レバーを引くと、刈刃は設定された回転速度で回転を始めます。
駆動レバーを放すと電子ブレーキが働き刈刃はおよそ4秒で停止します。

6、 安全ロックレバーを押したまま逆転スイッチを押すと、刈刃は逆方向に回転を始めます。
逆転スイッチを放すと電子ブレーキが働き刈刃はおよそ３秒で停止します。
※ 逆転スイッチを押し続けると、およそ10秒で停止します。このとき電子ブレーキは働きません。
※ 刈刃の正回転中に逆転スイッチを押しても逆転しません。また、逆転中に駆動レバーを握っても正回転しません。操作は刈刃の停止中に行ってください。
7、 電源スイッチを「×：切り」にして操作を終了してください。運転状態表示灯は消灯します。
※ 電源スイッチを「○：入り」にした後、およそ２分間刈刃の回転が行われないと電源は自動で切れ、運転状態表示灯が消灯します。このとき電源スイッチは「○：入り」の状態です。電源スイッチを「×：切り」にして終了してください。

▲注意　作業を始める前に周囲を見渡し、半径１５ｍ以内に人や動物がいないことを確認してください。
▲注意　逆転操作は刈刃部に巻き付いた草などを取り除く場合にのみ使用してください。
逆転での刈作業は行わないでください。
▲危険　刈刃は完全に止まるまで、絶対に触れないでください。
→　触れると死傷することがあります。

9，作業について

▲注意　作業を始める前に周囲を見渡し、半径１５ｍ以内に人や動物がいないことを確認してください。
▲警告　安全ロックレバーをテープなどを用いて押し込んだ状態で固定しないでください。
→　安全ロック機構が働かず、ケガを負う可能性があります。
▲警告　モーターユニット側面の空気口をふさがないでください。
→　モーターユニットの排気ができず、本体が破損する可能性があります。
▲危険　回転中の刈刃は大変に危険です。絶対に触れないでください。
→　触れると死傷することがあります。

● 作業方法について

・刈刃は右から左に掃くように作業してください。
・刈刃部に草などが巻き付いた場合は、駆動レバーを放し刈刃を停止させ電源スイッチを「×：切り」にします。刈刃の回転停止を確認してから草などを取り除いてください。軽微な草などの巻き付きは逆転操作にて取り除ける場合があります。
・刈刃に石などが当たった場合は、すぐ駆動レバーを放し刈刃を停止させ電源スイッチを「×：切り」にします。刈刃の回転停止を確認してから刈刃にひび割れなど異常がないか確認してください。
異常があった場合は、作業を中止し、メーカー指定の純正品に交換してください。
・作業中に過負荷状態が続くと、過負荷保護回路によりモーターが停止します。このとき運転状態表示灯が点滅し過負荷状態であることを表示します。一度電源スイッチを「×：切り」にし、過負荷の原因を取り除いてください。その後、電源スイッチを「○：入り」にしてください。
・作業の中断や、場所の移動、または、本体を地面におろすときには、必ず、駆動レバーを放し刈刃を停止させ電源スイッチを「×：切り」にします。刈刃の回転停止を確認してから行ってください。
・充電式電池の取り外しは、電源スイッチを「×：切り」にしてから行ってください。
・５０時間運転ごとにギヤケースにグリスを補給してください。

● 状態表示について

・操作ハンドルの運転状態表示灯にて本体の状態を表示します。表示内容の詳細は「表３、操作ハンドルの運転状態表示灯の表示について」をご覧ください。

表３、操作ハンドルの運転状態表示灯の表示について

状況	運転状態表示灯	内容及び対処方法
電源スイッチ入り	点灯	・電源スイッチが「〇：入り」になっている。 ・正常運転中。
電源スイッチ入り時に点滅	毎秒１回点滅	・駆動レバーまたは逆転スイッチが押されている。 → 駆動レバーまたは逆転スイッチを放した後、一度電源スイッチを「×：切り」にし、再度「〇：入り」にしてください。
電源スイッチ入り	消灯	・電源スイッチが「〇：入り」の時に充電式電池を取り付けた。 → 電源スイッチを一度「×：切り」にし、再度「〇：入り」にしてください。
作業中に点滅し駆動停止	毎秒１回点滅	・過負荷による自動停止 → 刈刃部に過負荷の原因となる草などの巻き付きがある場合は、電源スイッチを一度「×：切り」にし、草などを取り除いてください。その後、電源スイッチを「〇：入り」にしてください。 → 巻き付きなどがない場合は、一度電源スイッチを「×：切り」にし、再度「〇：入り」にしてください。
電源スイッチ切り入りで復旧しない	毎秒１回点滅	・充電式電池の温度が規定値を超えている。 → 電源スイッチを「×：切り」にし、充電式電池を取り外して風通しのよい日陰などで十分冷ましてください。
作業中に点滅し駆動停止または電源スイッチ入り時	毎秒５回点滅	・充電式電池の残容量が少ない。 → 充電式電池を充電してください。 → 充電された充電式電池と交換してください。

１０，作業終了

・運転後は全体の汚れを乾いたやわらかい布でふき取ってください。
・刈刃及び本体に磨耗・損傷・ヒビ・ゆがみなどの異常がないか確認してください。
・刈刃に刈刃プロテクタを取り付けてください。
・各部締付ネジのゆるみがないか点検してください。
・ギヤケースのグリスのもれがないか点検してください。

１１，清掃・点検・整備・保管

製品の寿命を長く保つために、常に清掃・点検・整備を行い保管してください。

⚠警告　清掃・点検・整備・保管の際は、必ず充電式電池を取り外してください。
　　　　→　不意の始動でケガを負う可能性があります。
⚠注意　清掃・点検・整備を行う際は、手袋を着用してください。
⚠注意　清掃に水を使わないでください。ブラシや布を使用して清掃してください。
⚠警告　刈刃の目立て直しを行う場合は、刈払機用研磨機をご使用ください。
　　　　→　正確に行わないとかえって刈刃破損の危険性が増大しますのでバランス良く、適正に行ってください。

● 清掃について
・空気口にごみやほこりが詰まっている場合は、ブラシや布で取り除いてください。
・全体の汚れを乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
・刈刃に付着している汚れやごみをブラシで取り除き、布で拭き取ってください。

● 点検・整備について
・刈刃に磨耗、破損、ヒビ、ゆがみなどの異常がないか点検してください。
異常がある刈刃で作業するとケガを負うおそれがあります。新しい刈刃との交換が必要です。
・ネジ類のゆるみがないか十分に点検してください。
ゆるみがある状態で作業を行うと重大な傷害事故の原因となり、製品の破損が生じる場合があります。ゆるみがあれば締め直してください。
・５０時間運転ごとにギヤケースにグリスを補給してください。

● 保管について
・充電式電池を本体または充電器より取り外し、充電器とともに保管してください。
・損傷箇所がある場合は、必ず修理・交換してから保管してください。
・刈刃に専用の刈刃プロテクタをつけ、湿気がなくチリやホコリがつかない場所に保管してください。
・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。
・長期保管（6ヶ月以上）する場合は、-20℃～50℃の場所で保管してください。

※　本製品は一般廃棄物として処分できません。ご不要になられた製品は、充電式電池と本体にわけ、それぞれ各自治体の条例に従って処分してください。充電式電池につきましては、「12，電池のリサイクル」をご参照の上、リサイクルにご協力ください。

１２，電池のリサイクル

● 本製品で使用している充電式電池はリサイクルできます。

使用できなくなった充電式電池は、両極端子部分に金属片が入らないようにビニールテープなどの絶縁テープでカバーをしてください。その上で、「充電式電池リサイクル協力店」に加入の電気店またはスーパーなどに設置されたリサイクルボックスに入れるか、または自治体の条例に従って処分していただきリサイクルにご協力ください。

● マルナカは一般社団法人ＪＢＲＣ（ホームページ　http://www.jbrc.com）に加盟し、リサイクルを実施しています。

充電式電池にはニッケルやカドミウム、コバルト、鉛など希少な資源が使われています。限りあるこれらの資源を有効活用するため、使用済み小形充電式電池のリサイクルを推進しています。

１３，故障と対策

この「故障と対策」はご使用中に「故障かな？」と思われたときの原因と対策をまとめてあります。ご使用時の操作方法が適切かどうかを再度ご確認の上、症状が改善されない場合は下記対策を行ってください。

症状：電源が入らない（運転状態表示灯が点灯しない）

原　　因	対　　策
充電式電池が本体に正しく装着されていない	「7，作業準備 ●充電式電池の取り付け、取り外し」をご参照の上、正しく取り付けてください。

症状：駆動レバーを引いても刈刃が駆動しない

原　　因	対　　策
充電式電池の残容量がない	「7，作業準備 ●充電式電池の補充電」をご参照の上、充電を行ってください。
刈刃に草などの異物が巻きついている	電源スイッチを「×：切り」にし、刈刃が停止していることを確認してから、草などを取り除いてください。

症状：駆動してもすぐに停止する

原　　因	対　　策
充電式電池が過熱状態になっている	充電式電池を本体より取り外し、風通しのよい日陰などで充電式電池を十分冷ましてから再度ご使用ください。
充電式電池の残容量が少ない	「7，作業準備 ●充電式電池の補充電」をご参照の上、充電を行ってください。

症状：充電ができない（充電状態表示灯が点灯/点滅しない）

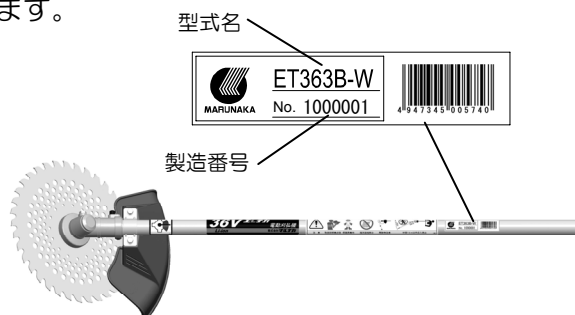
原　　因	対　　策
充電器の電源プラグがコンセントに差込まれていない	電源プラグをコンセントへ確実に差込んでください。
充電式電池が充電器に確実に差込まれていない	「7，作業準備 ●充電式電池の取り付け、取り外し」をご参照の上、充電式電池を正しくしっかり差込んでください。
充電式電池または充電器の充電端子が汚れている	綿棒などで汚れをふき取り、再度充電式電池を充電器に接続してください。
充電器のコードが断線している	充電器の買い換えが必要です。販売店にご相談ください。
充電式電池の寿命	充電式電池の買い換えが必要です。販売店にご相談ください。

症状：異常音、振動が出る

原　　因	対　　策
刈刃の取付不良	刈刃を取り付け直してください。
プロテクタ（飛散防止用）、ハンドルの取付不良	取り付け方法を確認し、取り付け直してください。
ネジ部のゆるみ	各部のネジを締め直してください。

１４，アフターサービスについて

製品の調子が悪いときは「１３，故障と対策」をお読みください。
対策をされても症状が改善されない場合やご不明な点がある場合、修理・交換などのお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店またはもよりの当社営業所までご連絡ください。より正確、迅速にお答えするために、下記内容も合わせてご連絡をお願いいたします。

＜連絡していただきたい内容＞
●型式名と製造番号
●ご使用状況
●ご使用時間
●不具合が発生した状況

１５，補修部品の供給年限について

本製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後９年です。
ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

お問い合わせ窓口

東京営業所　〒331-0811　さいたま市北区吉野町1丁目387-1　TEL 048(664)6115

京都営業所　〒601-8307　京都市南区吉祥院向田西町11　TEL 075(313)9111

中四国営業所　〒769-0104　香川県高松市国分寺町新名518-1　TEL 087(874)5402

九州営業所　〒861-8035　熊本市御領8丁目2-22　TEL 096(389)0005

業　務　課　〒601-8307　京都市南区吉祥院向田西町11　TEL 075(313)5890